

35周年実行委員会 事業計画

委員長 勝 村 健 司

1983年2月6日、地域のことを本気で考えた青年が集まり筑波学園青年会議所が創立されました。それはつくば市が制定される4年も前のことです。更なる飛躍をするべく1987年につくば青年会議所へと名称変更をしましたが、これまで諸先輩方が築き上げてこられた歴史と伝統は今も脈々と受け継がれています。入会間もないメンバーもその歴史と伝統を理解した上で、40周年、50周年へしっかりと継承していく必要があります。

まず、35年という諸先輩方が築き上げてこられた歴史を振り返り理解する為に、35年の節目の年に今一度諸先輩方との交流に目を向け、文字だけでは伝わらない熱い気持ちを体で感じられる交流会を開催します。「温故知新」という言葉がありますが、諸先輩方が35年という年月を掛けて様々なことを紡いでこられたことを実際に聞くことにより、今後のつくば青年会議所をより飛躍させる事業や街創り構想などを産み出せる可能性があるからです。そして、35周年記念式典を開催し、現役メンバーと諸先輩方が心を一つにして40周年、50周年を見据えて行動し進んでいきます。さらに、地域に様々な影響を与えてきたつくば青年会議所として、地域の経済効果、発展、賑わいにつながり、地域が再生出来るような新しい事業を立ち上げます。また、大きな継続事業に目を向けると、一番新しいツール・ド・つくばでも今年で9年目です。時代は常に変化しています。今後のつくば市を担うであろう若者にも賛同していただき、筑波学院大学のOCP(オフキャンパスプログラム)と協働し、地域に歴史に新しい風を吹き込ませられるような事業を実行します。

現役メンバーだけではなく諸先輩方と繋がって「PRIDE」を持って本気で地域のことを考えることにより、新しい歴史を加えつつ、40周年、50周年へ歴史と伝統が継承され、より飛躍でき、メンバー個々に多大な影響を与え、つくばの未来を変えられます。

〔事業計画〕

1. OBとの交流会開催
2. 35周年新規事業の展開
3. 第65回関東地区大会つくば大会の協力
4. 筑波学院大学とのOCP(オフキャンパスプログラム)開催協力
5. 会員拡大

予 算

〇〇〇〇〇〇円

〇〇〇〇〇〇円

合 計

〇〇〇〇〇〇円